

# 平成27年度「地域包括ケアフォーラム in 豊川」 参加者アンケート結果

名称：地域包括ケアフォーラム in 豊川

実施日：平成27年11月15日（日）14：30～17：00

延べ参加者数：321名

アンケート提出者数：214名

アンケート回収率：66.7%



## 【アンケート回答者の状況】

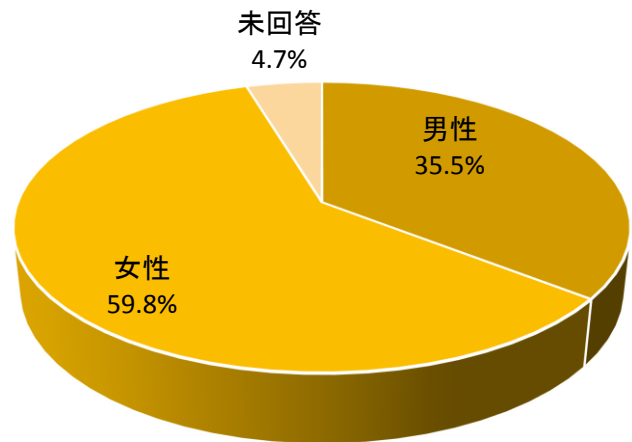
※ 計算方法により、合計が 100%と  
ならないことがあります。

### 1 性別

男性： 76名  
女性： 128名  
未回答： 10名  

---

合計： 214名



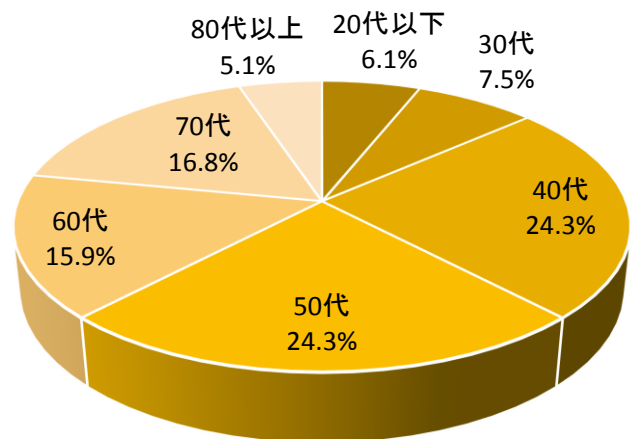
### 2 年齢

20代以下： 13名  
30代： 16名  
40代： 52名  
50代： 52名  
60代： 34名  
70代： 36名  
80代以上： 11名  

---

合計： 214名

※年齢は平成 27 年 11 月 15 日時点

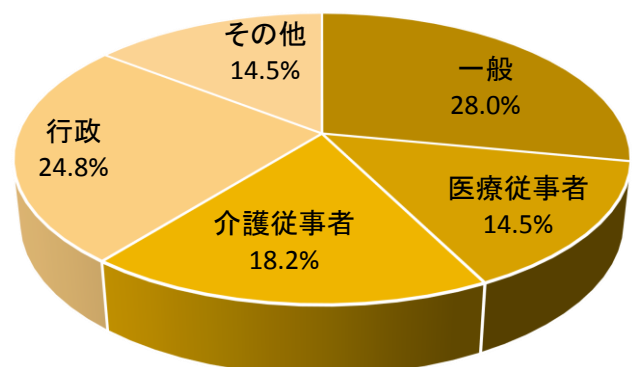


### 3 職種

一般： 60名  
医療従事者： 31名  
介護従事者： 39名  
行政： 53名  
その他： 31名  

---

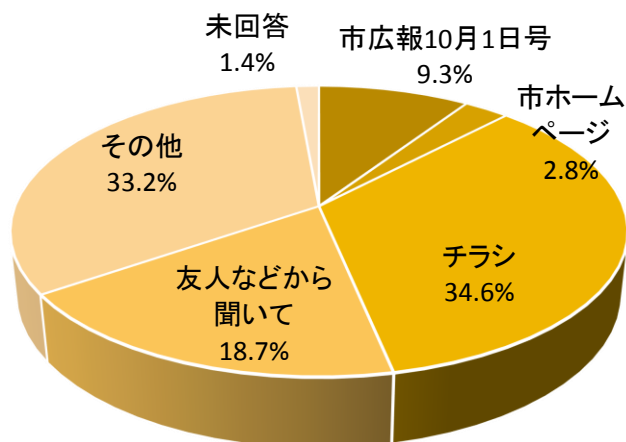
合計： 214名



## 【回答者全体でのアンケート結果】

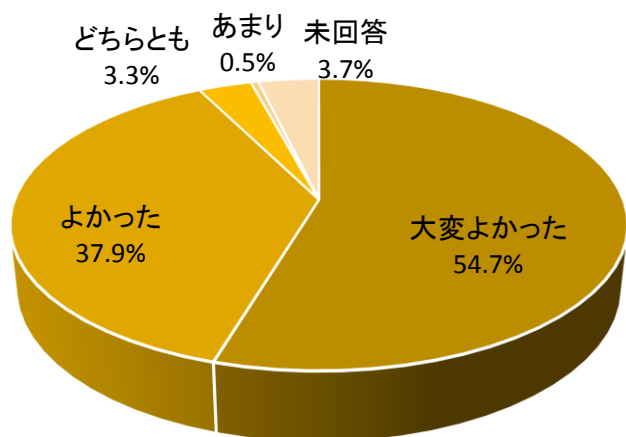
### 1 本フォーラムについて、どこでお知りになりましたか。

市広報 10月1日号 :	20名
市ホームページ :	6名
チラシ :	74名
友人などから聞いて :	40名
その他 :	71名
未回答 :	3名
<hr/>	
合計 :	214名



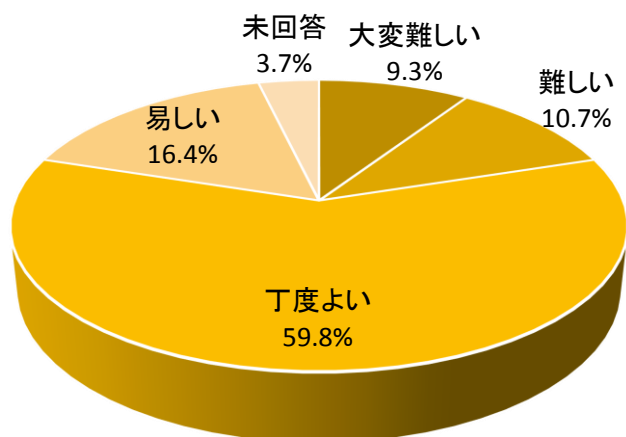
### 2 本日のプログラム中、演劇「自分らしく生きる」について、全体としてはいかがでしたか。

大変よかった :	117名
よかった :	81名
どちらとも :	7名
あまり :	1名
未回答 :	8名
<hr/>	
合計 :	214名



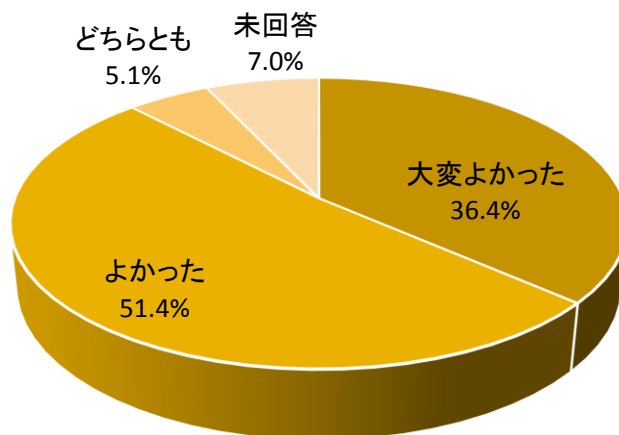
### 3 本日のプログラム中、演劇「自分らしく生きる」について、内容はいかがでしたか。

大変難しい :	20名
難しい :	23名
丁度よい :	128名
易しい :	35名
未回答 :	8名
<hr/>	
合計 :	214名



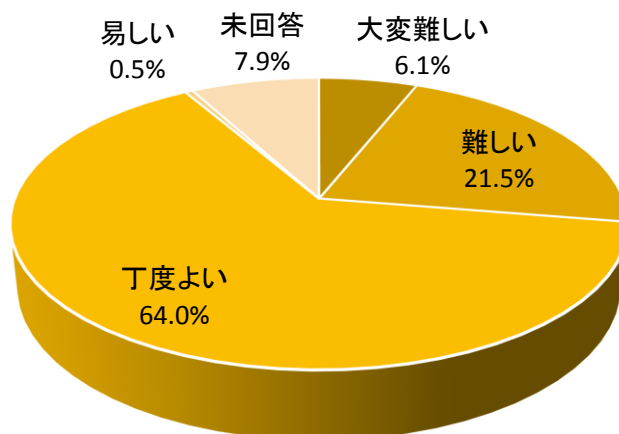
4 本日のプログラム中、有識者意見交換「地域包括ケアって何？ 教えて！先生！」について、全体としてはいかがでしたか。

大変よかった：	78名
よかった：	110名
どちらとも：	11名
あまり：	0名
未回答：	15名
<hr/>	
合計：	214名



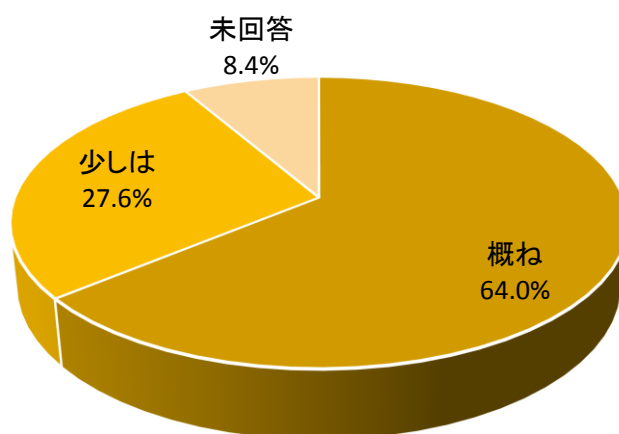
5 本日のプログラム中、有識者意見交換「地域包括ケアって何？ 教えて！先生！」について、内容はいかがでしたか。

大変難しい：	13名
難しい：	46名
丁度よい：	137名
易しい：	1名
未回答：	17名
<hr/>	
合計：	214名



6 本日のフォーラムを通して、「地域包括ケアシステム」について理解できましたか。

概ね：	137名
少しは：	59名
できなかった：	0名
未回答：	18名
<hr/>	
合計：	214名

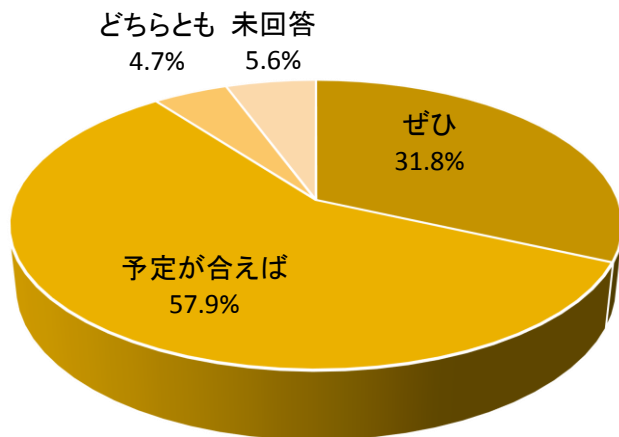


7 次年度以降も、市民向けのシンポジウム・フォーラム等の開催を予定しています。次回も参加したいと思いますか。

ぜひ： 68名  
予定が合えば： 124名  
どちらでも： 10名  
したくない： 0名  
未回答： 12名  

---

合計： 214名



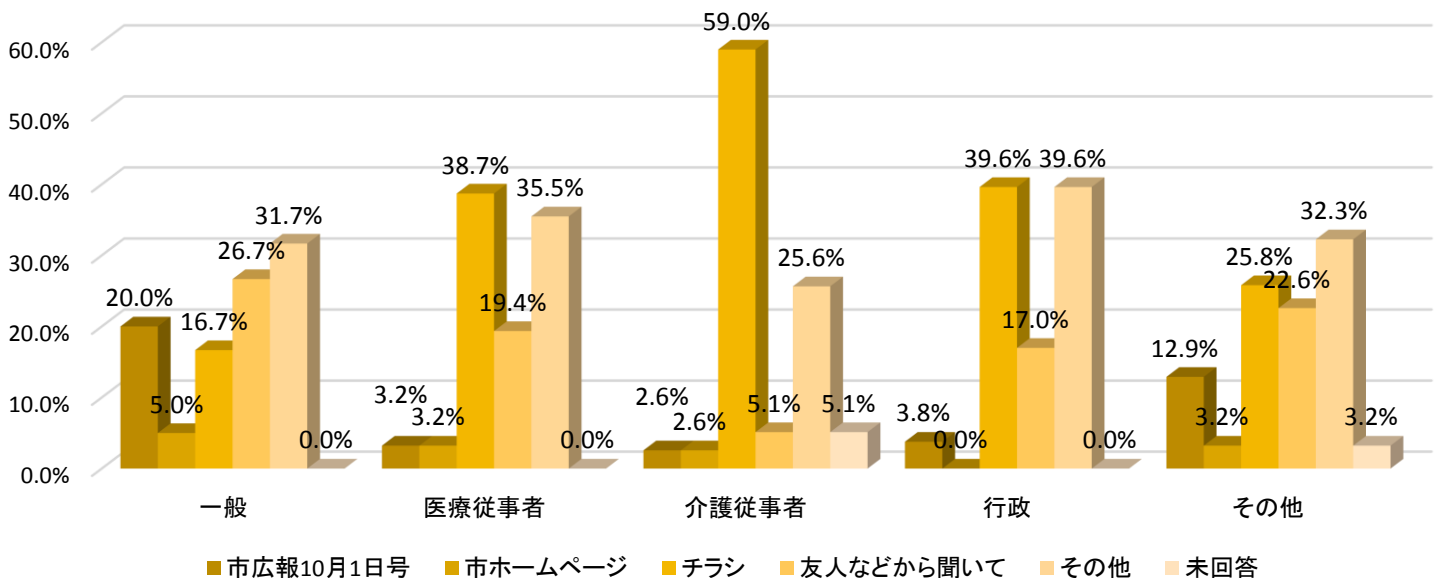
今後も、「伝える」だけでなく、「伝わる」ことを意識して、皆様の気づきにつながる機会を設けていきます。  
案内させていただいた際には、ご家族・ご友人など、皆様お誘い合わせのうえ、是非、ご参加いただきますようお願いいたします。



## 【アンケート結果：職種別比率】

### 1 本フォーラムについて、どこでお知りになりましたか。

	市広報 10月1日号	市ホーム ページ	チラシ	友人など から聞いて	その他	未回答	
一般	20.0%	5.0%	16.7%	26.7%	31.7%	0.0%	100.0%
医療従事者	3.2%	3.2%	38.7%	19.4%	35.5%	0.0%	100.0%
介護従事者	2.6%	2.6%	59.0%	5.1%	25.6%	5.1%	100.0%
行政	3.8%	0.0%	39.6%	17.0%	39.6%	0.0%	100.0%
その他	12.9%	3.2%	25.8%	22.6%	32.3%	3.2%	100.0%
全体	9.3%	2.8%	34.6%	18.7%	33.2%	1.4%	100.0%



### 【事務局所感】

一般の方が本フォーラムを知ったツールとしては、「友人などから聞いて」が26.7%、次いで、「市広報10月1日号」が20.0%と高い値となっています。

今後も、皆様のクチコミにつなげていただけるよう、興味・関心を引き出せるようなチラシの作成、効果的なPR活動に注力するとともに、多くの方にお知らせしたい内容については、広報を活用していくことがとても有効と考えられますので、今後も引き続き、積極的に広報を活用していきます。

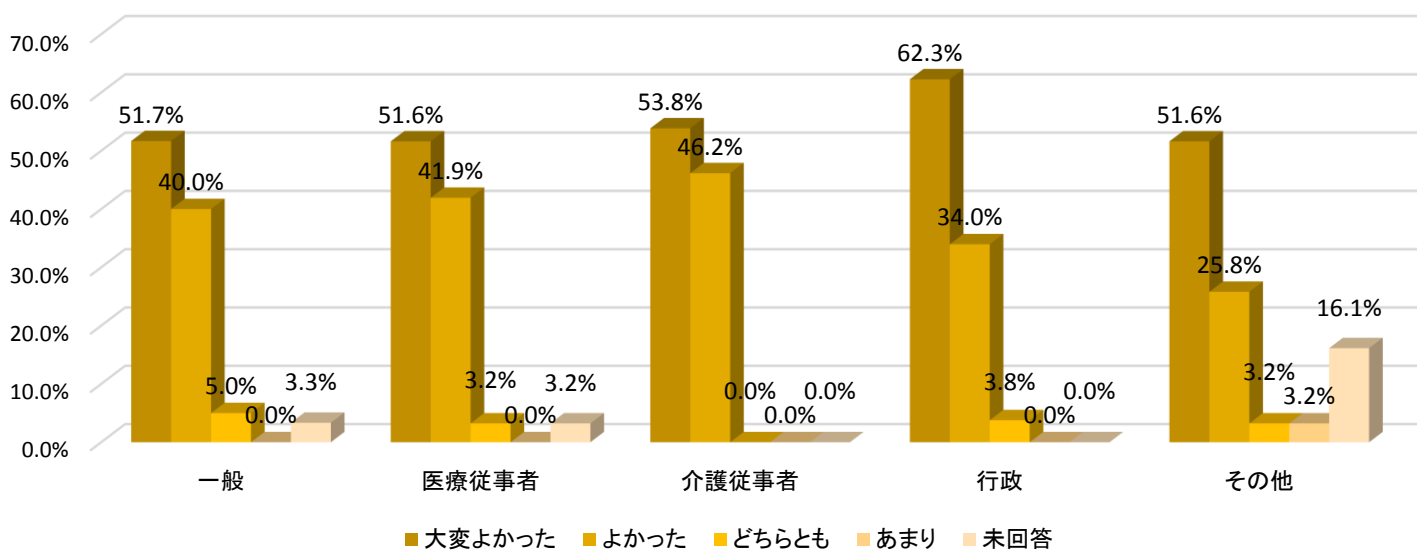
全体としては、「チラシ」が34.6%と最も高い値となっており、前述のクチコミにもつながる重要なツールと考えていますので、市民フォーラム等の内容の充実を図り、参加者満足度の向上を目指すとともに、その魅力をしっかりとお伝えできるようなチラシ作成に努めていきます。

また、より多くの方に知ってもらえるよう、その他様々な媒体、様々な場での啓発もしっかりと行っていきます。



## 2 本日のプログラム中、演劇「自分らしく生きる」について、全体としてはいかがでしたか。

	大変よかった	よかった	どちらとも	あまり	未回答	
一般	51.7%	40.0%	5.0%	0.0%	3.3%	100.0%
医療従事者	51.6%	41.9%	3.2%	0.0%	3.2%	100.0%
介護従事者	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
行政	62.3%	34.0%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	51.6%	25.8%	3.2%	3.2%	16.1%	100.0%
全体	54.7%	37.9%	3.3%	0.5%	3.7%	100.0%



### 【事務局所感】

全体として、「大変よかった」、「よかった」の合計値が9割を超えています。

受講者満足度が非常に高く、演劇の実施にあたり協力いただいた皆様に心から感謝するとともに、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、講師調整等に努めていきます。

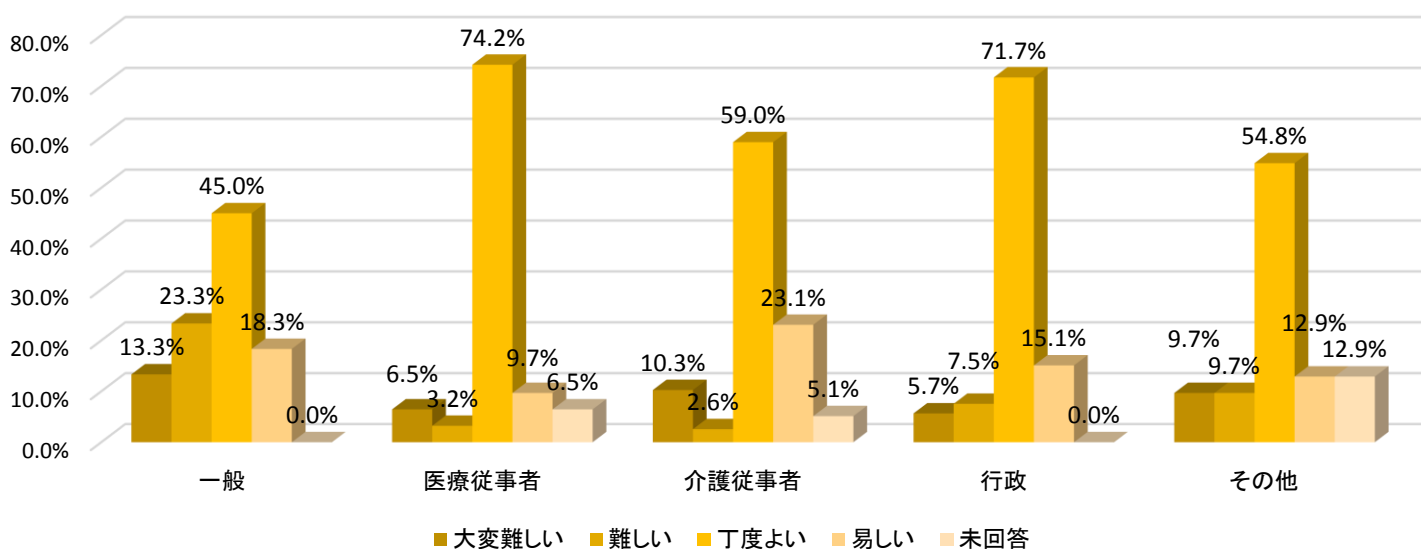


豊川市で医療・介護に携わる  
専門職が中心となり、思いを  
込めて演じました！



### 3 本日のプログラム中、演劇「自分らしく生きる」について、内容はいかがでしたか。

	大変難しい	難しい	丁度よい	易しい	未回答	
一般	13.3%	23.3%	45.0%	18.3%	0.0%	100.0%
医療従事者	6.5%	3.2%	74.2%	9.7%	6.5%	100.0%
介護従事者	10.3%	2.6%	59.0%	23.1%	5.1%	100.0%
行政	5.7%	7.5%	71.7%	15.1%	0.0%	100.0%
その他	9.7%	9.7%	54.8%	12.9%	12.9%	100.0%
全体	9.3%	10.7%	59.8%	16.4%	3.7%	100.0%



#### 【事務局所感】

一般の方は、「大変難しい」、「難しい」の合計値が36.6%となっており、比較的、難しいと感じる方の割合が高めとなっていますが、一方では、「易しい」の値も18.3%となっています。

難しいテーマであるにもかかわらず、全体として、「丁度よい」、「易しい」の合計値が7割を越えているのは、演劇という感情に訴える手法が皆様の理解を進めたものと思います。

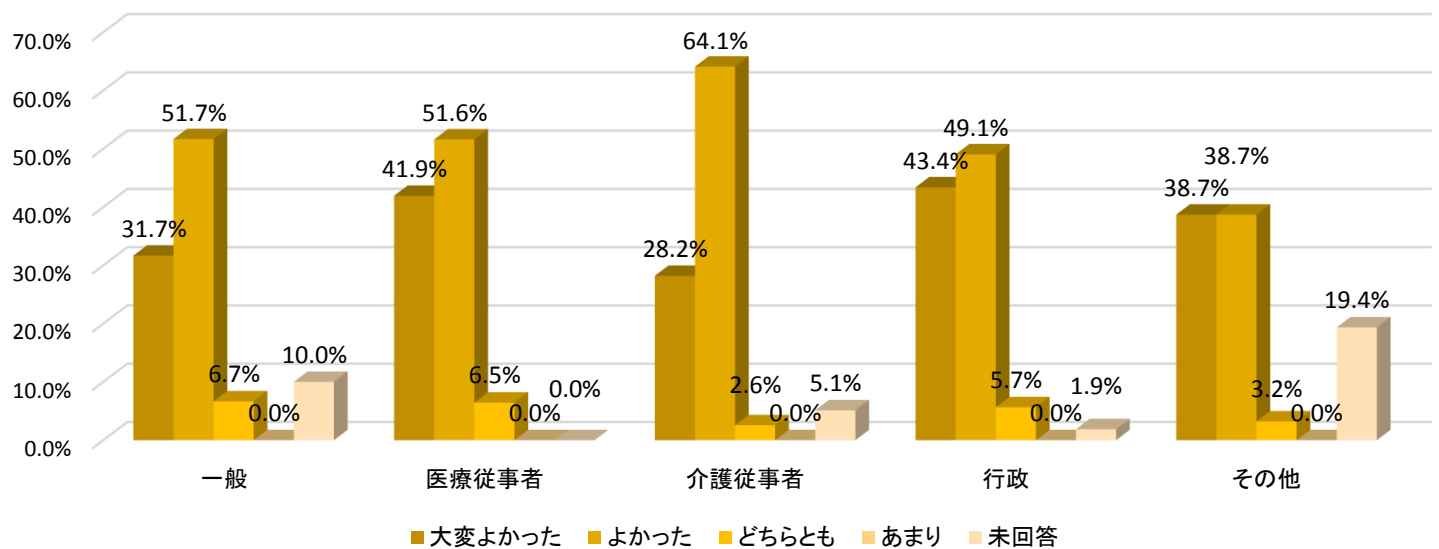
簡単ではないこと、理解が難しいことも中にはありますが、そういったことも含めて、多くの方に知っていただく機会を創出すること自体が本フォーラムの目的の一つとなっていますので、全ての方にとって「丁度よい」難易度とすることは難しいですが、難易度は適当であったと考えています。

今後も、「難しい内容」でも「分かりやすく」お伝えできるよう努めていきます。



4 本日のプログラム中、有識者意見交換「地域包括ケアって何？ 教えて！先生！」について、全体としてはいかがでしたか。

	大変よかった	よかった	どちらとも	あまり	未回答	
一般	31.7%	51.7%	6.7%	0.0%	10.0%	100.0%
医療従事者	41.9%	51.6%	6.5%	0.0%	0.0%	100.0%
介護従事者	28.2%	64.1%	2.6%	0.0%	5.1%	100.0%
行政	43.4%	49.1%	5.7%	0.0%	1.9%	100.0%
その他	38.7%	38.7%	3.2%	0.0%	19.4%	100.0%
全体	36.4%	51.4%	5.1%	0.0%	7.0%	100.0%



【事務局所感】

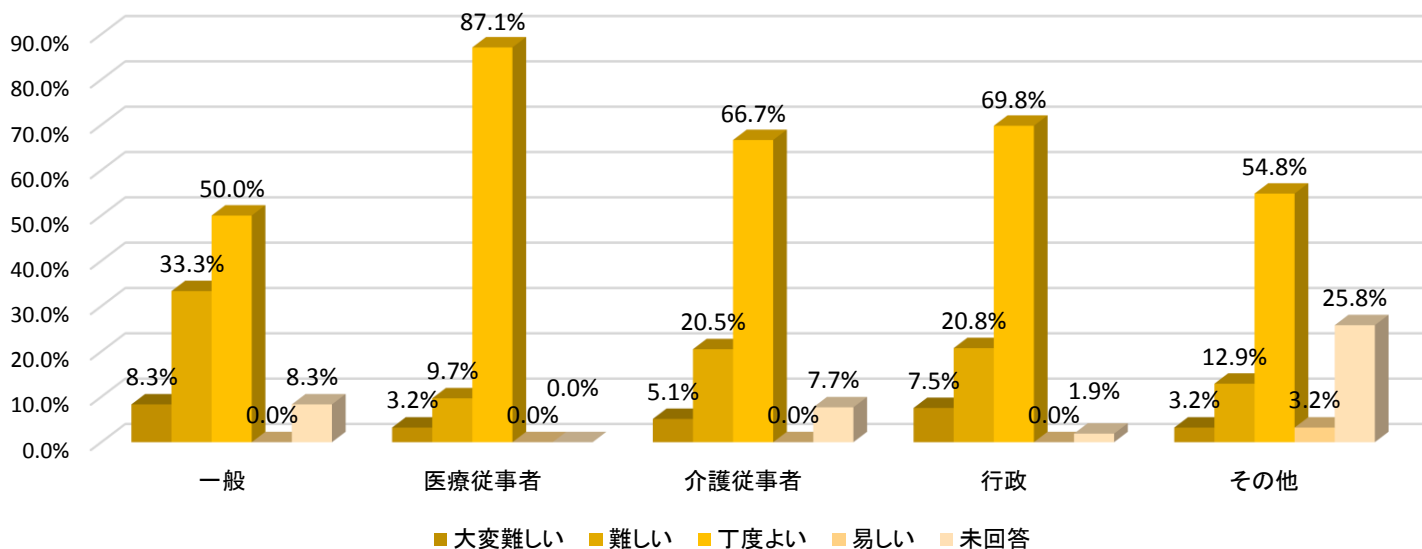
全体として、「大変よかった」、「よかった」の合計値が8割を超えており、受講者満足度は非常に高く、有識者意見交換の実施にあたり協力いただいた皆様に心から感謝するとともに、今後も引き続き、多くの方から今回のような評価をいただけるよう、内容の更なる充実、講師調整等に努めていきます。

なお、自由意見への記載として、「スクリーンに映し出される資料の文字が小さかった」、「手元に資料がなかったため、予備知識のない方には理解が難しいのでは」との内容が数件あり、一般の方の

「どちらとも」、「未回答」の合計値16.7%と、その他の方の「どちらとも」、「未回答」の合計値22.6%は、これらの理由がその一因かと推測されますので、参加者満足度を高めるため、次回以降の参考とさせていただきます。

5 本日のプログラム中、有識者意見交換「地域包括ケアって何？ 教えて！先生！」について、内容はいかがでしたか。

	大変難しい	難しい	丁度よい	易しい	未回答	
一般	8.3%	33.3%	50.0%	0.0%	8.3%	100.0%
医療従事者	3.2%	9.7%	87.1%	0.0%	0.0%	100.0%
介護従事者	5.1%	20.5%	66.7%	0.0%	7.7%	100.0%
行政	7.5%	20.8%	69.8%	0.0%	1.9%	100.0%
その他	3.2%	12.9%	54.8%	3.2%	25.8%	100.0%
全体	6.1%	21.5%	64.0%	0.5%	7.9%	100.0%



【事務局所感】

一般の方は、「大変難しい」、「難しい」の合計値が41.6%となっており、難しいと感じる方の割合が高くなっています。

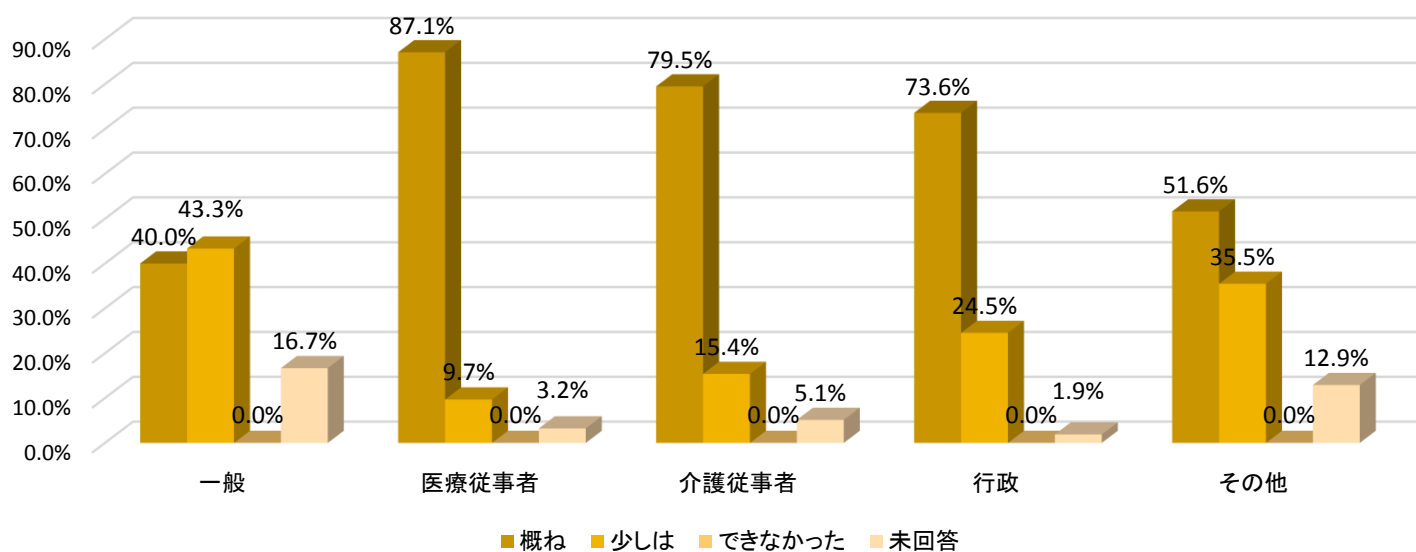
前段として、イントロダクション、演劇を行ったため、難しい内容にも入っていきやすい下地はできていたものと思われます。

また、ナレーターのリード、先生方の受け答えも「分かりやすかった」との自由意見が多く見受けられます。

単純に難易度を下げることは、参加者満足度の向上に連結しないと考えておりますので、前設間にも記載しておりますが、予備知識の少ない方に対し、「難しい内容」でも「分かりやすく」お伝えできるような、さらなる工夫・配慮をしていきます。

## 6 本日のフォーラムを通して、「地域包括ケアシステム」について理解できましたか。

	概ね	少しは	できなかった	未回答	
一般	40.0%	43.3%	0.0%	16.7%	100.0%
医療従事者	87.1%	9.7%	0.0%	3.2%	100.0%
介護従事者	79.5%	15.4%	0.0%	5.1%	100.0%
行政	73.6%	24.5%	0.0%	1.9%	100.0%
その他	51.6%	35.5%	0.0%	12.9%	100.0%
全体	64.0%	27.6%	0.0%	8.4%	100.0%



### 【事務局所感】

全体として、「概ね」、「少しは」の合計値が91.6%となっており、皆様の理解が促進され、気づきを得る機会となったと考えられます。

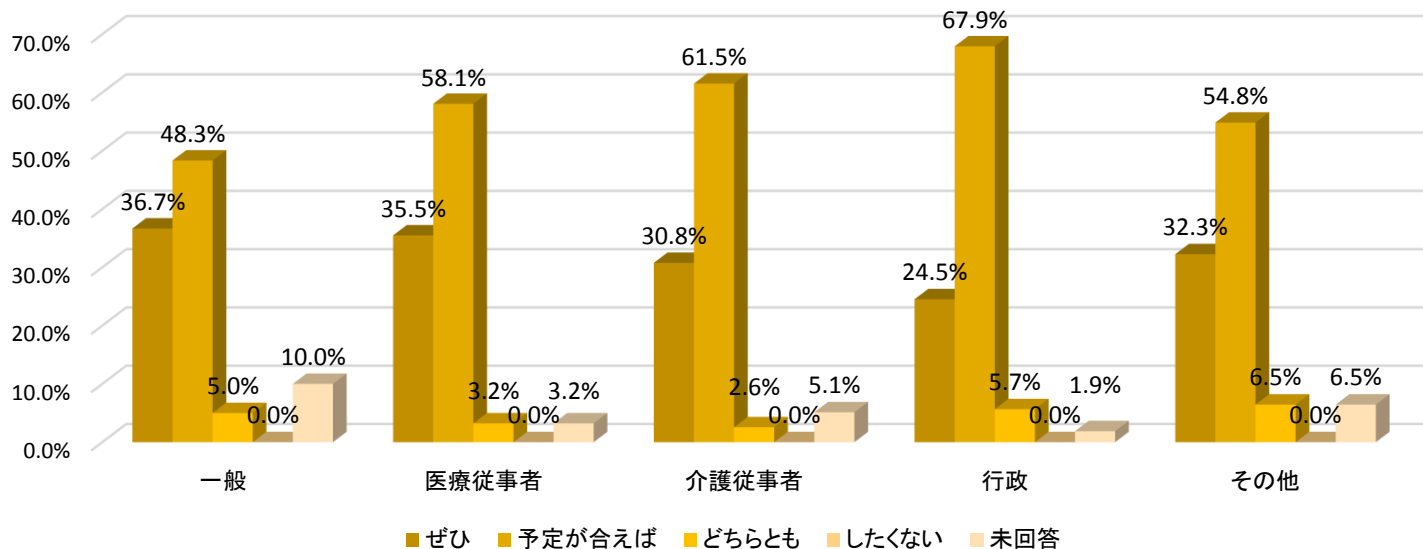
注目すべき部分として、一般の方について、「概ね」の値が40.0%、「少しは」の値が43.3%、その他の方について、「概ね」の値が51.6%、「少しは」の値が35.5%となっています。

テーマが難しく、予備知識がないとなかなか理解しにくい（理解しようという入り口にすら立ちにくい）中で、このような前向きな評価をいただけたことは、本フォーラムが皆様にとって有意義なものであったことを示しています。

今後も、多くの方の理解が促進される、興味・関心を引き出すことができるような機会の創出に努めていきます。

7 次年度以降も、市民向けのシンポジウム・フォーラム等の開催を予定しています。次回も参加したいと思いますか。

	ぜひ	予定が合えば	どちらとも	したくない	未回答	
一般	36.7%	48.3%	5.0%	0.0%	10.0%	100.0%
医療従事者	35.5%	58.1%	3.2%	0.0%	3.2%	100.0%
介護従事者	30.8%	61.5%	2.6%	0.0%	5.1%	100.0%
行政	24.5%	67.9%	5.7%	0.0%	1.9%	100.0%
その他	32.3%	54.8%	6.5%	0.0%	6.5%	100.0%
総計	31.8%	57.9%	4.7%	0.0%	5.6%	100.0%



【事務局所感】

全体としては、「ぜひ」、「予定が合えば」の合計値が89.7%となっており、参加者満足度が高く、次回参加への動機付けとしても効果的であったと考えられます。

一般の方についても、「ぜひ」、「予定が合えば」の合計値が85.0%と高く、難しいながらも、全体を通じて受け入れやすく感じていただけたものと思われま。

今後も、より一層、“次回も参加したい”、“ご家族、友人などにも広めたい”とさせていただけるようなフォーラム等の企画・運営に努めていきます。



**【記述回答部分】**（順不同）

**（1）今後、豊川市で地域包括ケアシステムを構築していくにあたり、必要だと思うことについて、あなた自身のご意見を自由に記載してください。**

- 関係者の正しい理解と協力が必要で、市民への分かりやすい説明、PRが必要と思います。
- 一般市民はもちろんのこと、専門職でも理解ができていないと感じることがあり、今はとにかく、普及啓発に努めなければならないと思います。
- 住民の意識を深めていくことが必要（専門職も含めて）です。どうしたらできるかは難しいのですが、地道な啓発と情報提供しかないように感じます。
- まだまだシステムそのものが地域によく知られていないと思います。広報等にて具体的にどういうものか周知していく必要があると思います。
- より多くの人に知らせていくこと、子どものうちから教育していくこと、話しやすい、信頼できる医師を増やしていくことが必要だと思います。
- このような機会に参加し、理解を深めていく人たちは、自分でさまざまな問題に対し、解決を見出していくと思いますが、まったくこのような機会に恵まれず、「地域包括ケアシステム」について分かっていない人は多くいると思います。今後、そのような人たちへの啓蒙が必要であると思います。
- 医療チームが支援してくれることの啓発が必要だと思います。
- もっとケアマネジャーを通じて、地域包括ケアシステムを理解してもらうようにすべきと思います。
- 地域包括ケア、在宅医療というものがあるということを市民に知ってもらう必要があると思います。市民向けの講演会や説明会など、興味を持ってもらえるような啓発が必要かと思います。また、専門職同士、それぞれの職種の理解をしていく必要性があると思いました。
- 専門職を含む市民に向けた啓発、医師、看護師の確保が必要だと思います。
- 定期的なフォーラムの開催が必要だと思います。
- 今回のような市民向けの催しを積極的に行ってもらいたいと思います。知識がまったくない人でも分かるような、噛み砕いた内容で、理解しやすく、興味を持てる工夫が必要だと思いました。
- 連区長など、役割を持った方でも理解にバラつきがあると思います。簡単な説明会でもよいので、連区単位で開催していただけるとよいと思います（行政指導で）。
- 在宅で看取るときに必要な知識等を、家族にもっと理解してもらえるような情報を提供してほしい。死生観の詳しい説明、理解を得ないと、在宅看取りは難しいと思います。

- 在宅を優先しようとする市民の意識が必要と思います。
- 医療関係者だけの説明だけでなく、市民全体が一緒になって考えていけるようになるためには、どうしていくのがよいか、スタートラインからの検討も必要と思います。
- 介護関係者と一般生活者との認識の差があるので、それを近づける知恵はないものでしょうか？福祉サービスの提供も、今後ボランティアが関与していく介護保険サービスの関与がでてくる社会が迫っているのに、福祉サービスとしてのサロン活動や福祉活動グループの認識が変わっていないことに問題点を感じます。
- かかりつけ医を持つことが大事だと思いました。
- かかりつけ医の存在が大きいと思います。医師の意識の改革についても、医師会としてすすめてほしい。
- かかりつけ医の必要性、理解を深めることが必要だと思います。
- 先生の訪問診療への理解が、もっと必要だと思う。
- 主治医の理解が必要だと思う。
- 医師によって相談しやすい方とそうでない方がいると思います。(介護に理解がなかったり、自宅での様子に無関心であったりと)
- かかりつけの医師が専門外だったら、スムーズにほかの先生を紹介していただきたい。
- 在宅医療に対応できる医療機能の充実、家族などの協力が必要だと思います。
- 医療、福祉、保健のネットワーク化でしょうか。病状が軽い段階で、いかに行政と関わっていくかも大切なポイントかと思います。
- 大型病院がもう少し在宅ケアへ向けての動きをサポートしていく力がつくこと、患者を在宅医へ渡していくことが必要だと思います。
- 難しいことですが、多職種の緊密な連携と相互理解が必要だと思います。
- 認定看護師外来と、在宅で携わる看護師の連携を強化してほしい。現状では、急性症状が現れても、予約をとり、受診にいたるまで2~3週間かかってしまい、さらなる治療が必要となることがある。
- 豊川市は、モデル事業で地域包括ケアシステムの構築を行っています。多職種連携が重要だとは感じており、特に介護と医療の連携については、どんどん進めていく必要があると思っていますが、このシステムに向かっていくと考えている関係者の方はまだまだ一部だと思います。一部の方が積極的にやっけていただいている分、もったいない状況も続いていると感じます。



- 自分の職種でおこなえる部分（専門）に、責任をもって果たしていくこと。抱え込むことなく、その方たちの生活が続いていくには、多くの職種で連携していくことだと各自が自覚し、必要な、適切な方法で、情報交換していくことだと思います。ひとつの点がつながって、ひとつの円になって、その方たちの生活を支援するために、顔の見える関係づくりが、今後も必要だと考えます。
- 在宅医療対応が西部、東部に圧倒的に多く、南部、北部に極端に少ない。行政としてこれよいのでしょうか。比較的大きい病院があり、個人医＝在宅医療が成り立たないのでしょうか。
- 訪問診療の数。医師と連携が取りづらいので、医師の対応をよくしてほしいです。
- かかりつけ医の人数（在宅の生活を希望される方ひとりひとりに、きちんと向き合うための医師一人の対象者のキャパに対して、不足なく確保しようとする、とてもたくさんの人数になる気がします）。支援者の人数。
- 訪問診療する先生を増やしてほしい。人の確保が大きな問題だと思います。
- 訪問医療の先生や看護師さんが増えることを望みます。演劇のように家族がいる場合は、まだ自宅で看取りは可能だと思いますが、一人暮らし（子どもたちが遠方）はどうしたらよいのでしょうか。
- 地域包括ケアシステムの構築にあたり、効率のよい再就職先のあっせんなど、医療に従事した人の確保（定年を迎えた人）に向けたシステム作りが必要だと思います。
- 職員の確保と質の高さが必要だと思います。
- 地域包括ケアシステムによる利用者の選択が増えることはよいが、介護をする人、介護職に対しての人員確保がついていくのか？！地域でのボランティアがどこまで協力できるのか。働く人がいない現状を一番心配しています。
- 在宅療養を支えるレスパイトケアの施設が身近にあるとよい。いろんなサービスをもっといろんなところで知る場所・機会がほしい。
- 何かとお世話になる機会もあるかと思いますが、近くにホームを作ってくださいを望みます。
- 介護施設が少ない。年金でも入れる施設があると安心できるのですが。
- 介護というと、病気になってからという意識が強いと思うけれど、元気なうちに、自分はどういう生活をしたらよいかというような話ができるとよいと思います。特に男性がどのように社会になじめるか？考えていきたいです。

- 個人が真剣に自分自身のこととして、意思をまとめておき、その意思を明確に（伝える、記す）しておくことも必要だと思います。
- 地域で支えるために、支援を必要とする方、また、その家族が内に抱え込まずに、まず外に声を上げて、相談にのってもらうことが必要だと思いますが、外に出ない人（情報が入らない人）は、どこに言ったらよいのか分からずにいると思います。
- 介護をする方が精神的にまいってしまうような状態にならないよう、各専門の方のお知恵を結果にして考えていただける体制になるといいと思う。
- 地域の力を合わせる大切だと思うので、行政の役割も大きいと思います。
- 住んでいる地域を知ること、関わる人同士の連携が必要だと思います。
- 町内との協力が必要だと思います。
- 近所づきあい、あいさつができる地域にしていきたい。
- 日常生活の健康が保たれてこそ、地域包括ケア、家族介護につながると思います。
- 自助、互助の力も、もっと高めていかなければならないと思います。まずは、自分の健康は自分で守る。なるべく介護・医療にかかるのは遅くしたいです。
- 訪問診療をしてくださる先生が増えていくとよいのですが、一番は、各個人の予防の意識の向上と、早期受診だと思います。仕事を持ちながらも介護ができる体制が一番必要だと思います。
- 独居でも在宅を続け、最期を迎えた方は少なかったが、独居でも最期まで過ごせる方法があるとよいと思います。
- 独居老人の訪問（ケアマネジャーやヘルパー、近隣の人々の協力で、声かけ、見守り）強化が必要だと思います。
- 病院から在宅へ戻る際に、多くの人が自宅を出入りすることに抵抗がある方も多くみえると思います。そのあたりの理解を深めることも重要になるかと思います。
- 色々なサービスを使うにあたり、ケアマネジャーによっても知識の内容が異なると思います。また、利用者、家族も知識を得ないといけないと思います。
- よくあることだと思いますが、家庭内で意見が分かれた場合、市として様子を見るのか、積極的にケアマネジャーが関与するのか、市は責任をとれないですので、実際は難しいですねといった現実があると思います。
- 地域包括ケアシステムの重要性、必要性等々、理解できましたが、それらを受ける側の最大の問題である経済的な負担およびそれに伴うバックアップ態勢。いわゆる人・物・金の、金の部分の具体的な不安の除去法を提案してほしい。

- 施設入所の利用も難しくなることにより、今後 2025 年に向けて、在宅生活の充実は重要と思います。
- 医師だけの高給を改め、関連従事者の給与、待遇の向上を図る必要があると思います。希望者がいないのを反省すべきだと思います。

**(2) 本フォーラムに参加して、あなた自身が新たに気づいたことや、今後、こうしてみようと感じたことなどを自由に記載してください。**

- 92 歳の義母を妻と介護しているが、義母の希望通り、自宅介護をやっけいこうと、改めて思いました。
- 我が家でも、77 歳の母が車椅子生活をしています。最後まで自宅にいられるようにしたいと、改めて思いました。ありがとうございました。
- 介護施設での介護を望んでいました。家族に迷惑をかけたくないと思っていたが、今回参加して、もう一度家族と話し合いたいと思います。
- 自分の老後も考える機会になりました。
- 自身、独居生活で、子どもが遠方に住んでいるので、自活が困難になったとき、どうしたらよいか、改めてじっくり考えなければと思いました。
- 安心して暮らせるようと考えていますが、不安がいっぱいです。いろいろな行事に参加して、有意義な毎日を送りたいと思いました。
- 明日はどうか分かりませんので、今日を大事にして暮らしていきます。
- 今後をどうしようか？考えることが難しいです。まず、かかりつけ医を決めることから悩んでしまいます。
- 今の自分ならば、地域の方とのコミュニケーションは大事と思うけれど、高齢になったとき、個人のことになると分かりません。
- 私なりに健康に気をつけて、自分のことは自分でできるように生活をしていきたいと思っております。
- 連携は大事。引き出しをたくさん持つために、情報収集が必要と思いました。
- 地域包括ケアシステムの構築には、多職種と連携してミーティングを重ねて対応することは理解できました。在宅介護へ、在宅医療へ。

- 多職種のみでなく、他業種との連携の必要性も感じました。
- ”住み慣れたまちで暮らしていくために”を支えていく一市民として、他職種、他業種の役割等をしっかり理解していきたいと思いました。
- 自分の役割について見直し、こういった機会に（そのほかにも）できるかぎり参加し、多職種の方の話を聞くようにしていきたいと思います。
- 主治医を大事に持つようにします。また、今後も豊川市の本システムの動向を注視していきたいと思います。
- 医療・介護のことをあまり認識していませんでしたが、在宅医療の必要性について、初めて理解に近づくことができた機会となりました。
- 地域包括ケアシステムの流れが理解できました。別の機会には、訪問リハビリの仕組みと利用方法を傾聴したいと思います。
- 地域包括ケアがしっかり考えられており、安心しました。
- 各制度を利用しようとする、申請など、書類を整えたりすることが自分ではできなくなります。どうすればよいのでしょうか？
- 今はいいですが、今後必要となったときに、こういう取組があるということが理解できてよかったです。一人で考え込まず、周囲の専門の方などに相談したいと感じました。
- 行政に相談し、少しでも介護にかかる自身の負担を減らしていきたい。
- 自分の最期について悩んでいる方がみえたら、相談窓口へ案内しようと思いました。
- かかりつけ医の大切さを伝えていきたいと思いました。
- かかりつけ医を持とうと思いました。
- 病院の近くの薬局をバラバラに持つのではなく、かかりつけの薬局を持とうと思いました。
- 医薬分業の話については、まったく知りませんでした。特に、高齢者で、複数の薬を利用する方について、「かかりつけ薬局」を持つべきであるということ、今後の業務に活かしていきたいです。
- 地域づくりも人間関係も、継続が大切ということを実感しました。
- これまでは単身赴任が長かったのですが、今後は、自宅周辺の近所づき合いが大切だと感じました。
- 日中、仕事に出ているので、地域のことがよく分からずに生活しています。地域のことを知る努力も必要と思いました。

- 認知症早期発見のための見守りを！とのことですが、周囲の人が感じて、本人、家族が納得できない、また、行政に申告しても、本人等からでないと思われて受付けてくれないことがあり、対応が困難と感じます。
- ボランティア活動をしていますが、どう取り組んでいくのがよいか考えさせられました。
- スポーツ、運動の習慣化が大切なので、身近に行ける場所を作っていきたい。
- 市民フォーラムに参加する人たちは、意識が高いので、理解が深まると思うが、来ない人や、来られない多くの人たちへ、パンフレット以外にもやれる方法を考えていくことが必要と思いました。
- 在宅医療・介護でフォーラムに参加している専門職の方が、いつも同じ方と感じます。一般の方の参加は増えているように感じ、それはとてもよいことと思いますが、関係者の意識改革も必要かなと思います。
- 訪問診療数が増えていくことはよいと思いますが、質はどうか？と思われる現実も多いのでは……
- 独居世帯の対応について、どのように整備していくのか気になりました。
- 在宅で延命治療的なことになると、病院に移してもらえるのでしょうか？
- 介護職、看護職の人材不足として、市の方で対応とかは考えていないのでしょうか？！
- 多職種連携もありますが、家族が第一に介護するにあたり負担があるのは、在宅では間違いなくある。これは、何とかありませんか？
- 豊川市が先進地であることを誇りに思います。
- ICTの活用（Information and Communication Technology）のように、略語にはルビをつけるなどすると分かりやすい。AEDのコンビニ設置を豊川のみならず、全国的に100%設置にしようか。

**(3) その他の意見を自由に記載してください。(今後の市民向けシンポジウム・フォーラム等に望むことなども、是非、ご記載ください。)**

- 演劇がとてもよかった。地域包括ケアのことが分かりやすい設定でよかった。
- 演劇を最初にやられたのは、非常によかったと思いました。かしこまりすぎないフォーラムだと思いました。(ただ、演者の一部の方が、第2部で、客席で長時間私語をされていたのが非常に気になりました。客席にいるならば、私語は慎むべきだと思いました)

- 演劇がとても感動しました。分かりやすさとチームの一体感が伝わってきました。歌もとてもよかったです。先生方の説明も分かりやすく、進行もよかったですと思いました。
- 演劇は、新しい制度を理解するのに有効な手段だと思いました。
- 演劇は分かりやすかった。すばらしかったです。
- 演劇がすばらしかったです。連携や日ごろのチームワークが、より高まったと思いますし、これまでの準備、練習も大変だったかと思います。子どもさんのパワーに感動しました。包括の場面に子どもも含めて、今後啓発が進むとよいと思いました。
- 演劇が、大変分かりやすく、すばらしいと思いました。今後は、例えば、豊川稲荷門前町のおばあさん、御津の海苔屋さんなど、対象となる職業や地区を変えて、健康・福祉まつりや老人会で、出前講座に劇を挿入していただけるとよいかと思います。
- 企画、準備がすばらしいと思います。関係者の皆様、ありがとうございました。
- ケアマネジャーの資格も持たれている大石先生が、病状に対応できる介護保険などの詳しいお話をされていて、とても分かりやすかったです。勉強になりました。
- 今日のお話は、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。各老人クラブ等でも、このようなお話をしていただき、高齢者の方にも広めていただきたいと思います。
- 大変お忙しい中、本日のために演劇の練習を重ねられた皆様に敬意を表します。大変分かりやすかったです。終末を迎えられる方の多くが豊川桜子さんのようにあってほしいと願います。
- 自分の老後も含め、考えさせられました。
- 元気にやっていきたいと思いますので、できるだけ自分自身で生活することを心がけていますが、病気になってからのことが心配です。
- 演劇＝理想的な家庭でうらやましい限りです。家族があり、何不自由なき様子。一人暮らしでは、不安がいっぱいです。費用が心配です。国民年金で大丈夫でしょうか？
- 豊川市に住んで、だいぶ安心しました。76歳の一人住まいですので、いつ何時を考えると、度々です。
- 演劇や「教えて！先生」、どちらも分かりやすくて、100%とはいえないですが、概ね理解できました。スライドがもう少し見やすくなれば、さらに理解がしやすいと思いました。
- 「教えて！先生」で話される内容の資料がないので、基礎知識がない人は、多分、聞いても分かりづらいと思いました。
- 今回のフォーラムは、スライドの図や文字が見つらなかったので、見やすくしてほしいと思いました。



- 文章や話だけでは内容をつかみにくいが、演劇を見ることでいっぺんに理解でき、よかった。  
第2部で、プロジェクターで映された資料は、メモしきれなかったので、プリントが手元にあるとよかった。
- 資料が多いので、最初に確認をしてほしかったです。また、「鉢植えの図の描かれている資料をご覧ください」という説明が分かりにくかったです。
- スライドの資料が手元にあると、より分かりやすかったと思う。ナビゲーター山本さんの要約、説明が分かりやすかった。
- ナビゲーターがよかった。
- 開始をもう少し早くした方がよかったのでは？と思いました。具体的な社会資源の資料、あと、今日の次第があるとよかった。
- 後半の意見交換時、スライドの関係もありますが、会場を明るくした方がよかったと思いました。
- 全体としてプログラムが長いと感じました。
- 長時間すぎるので、もう少し運び方を考えてほしいと思いました。
- ケアマネジャー、薬剤師の活躍もほしかった。
- 今回のフォーラムの録画を、ケーブルテレビや You Tube で配信してほしい。DVD として、図書館で貸し出しするとか。
- 今回のフォーラムは、分かりやすく取り組んでいただきましたので、今後とも企画してもらい、世代間での受け止め方への拡がりが出でくるとよいと思います。
- 市民向けシンポジウムをしてほしい。在宅での介護に関してイメージがつかないと思うので、具体的な事例を示すと、在宅介護についての不安や恐怖が少なくなると思います。
- 年齢制限を設ける訳ではありませんが、若い年代の方向けに、今後のことを考える機会となるようなシンポジウム、フォーラム等があるとよいのでは。
- もっと身近な場所（生活圏域など）で話を聞けると、これはどうなんだろうと思うことが聞きやすいのではないのでしょうか。
- 最後をどう過ごすかが一番の感心事であり、今後こういう機会があれば参加していきたいと思いました。
- 度々お話し合いの機会をお願いいたします。
- 老人会等を通じて、情報等を適宜、お知らせください。

- 現在、要支援などの比較的軽い状態の人たちに対する支援についての話を聞きたいです。予防や軽いうちに対応すれば、本人も元気で長く過ごせ、結果として医療費も少なくなると思います。
- 予防医療・介護に向けての事例ケースの内容、対応策の取組みも傾聴したいです。予防としての在宅リハビリの活用方法の取組みも、今後重要と思いますので、ぜひ要望したいです。
- 介護や高度な医療が必要でない時期を長くするためにも、自分の健康管理を啓発していくことも大切だと考えます。
- 長尾先生の講演会を、もう一度、今度は市民の方にも聞いていただきたいです。終末期でも、1日でも2日間でも、自宅に戻ることができる環境が整っていることを知ってもらいたいです。
- 1年で訪問診療の先生が増えたのには驚きました。
- 訪問診療してくれる病院が増えてきているのはうれしいです。もっと理解が広がるといいです。
- 今後、在宅医療が進んでくると、在宅医療に関係する職種の方々が望む人の数に対応しきれなくなるのが心配です。このあたりのことを知りたいと思います。大石先生の言われたマンパワーの確保の見通しを知りたいです！！
- かかりつけ医を具体的に決めることに不安があります。
- それぞれ異なる家族状況に対し、一律の制度がどれだけ対応できるのでしょうか。働きながら親と共に生きることは、大変難しいと感じています。
- 在宅医療を望んでも、一人住まいでは。まだ介護は必要ないけど、病院等、買い物等に遠いから行けません。車に乗れなくなったら、バス等もないから。
- 医療介護など、どれも利用するには、お金が必要です。身内がいない場合、保証人の問題がネックになるときは、どうすればよいのでしょうか？
- 介護保険の卒業という考えを和光市が示していますが、そうした活動がどうしたら可能になるか？関心があります。
- 私も支援を受けていますが、今日フォーラムに参加して、地域包括ケアのことが少し分かりました。以前は全然知らなかったもので、一般には、まだまだ……心配ばかりしています。
- 地域包括ケアシステムは、大変よいことと思いますが、なかなか大変ですね！
- 他市に比べ、豊川市は進んでいると思います。
- このような取組が進んでいることを初めて知りました。
- 私は、豊橋市に住んでいますが、豊川市だけではなく、東三河全体でシステム作りができればよいと思います。

- 時間で△△さんの楽しい時間ですよ、と生きがい放送、笑顔で最期まで。
- 本人の意思が一番重要だと思います。認知症になる前に、自分の意思を決定することが必要。  
それが一番よいのではないかと思います。
- 認知症かな？と思う人がいても、身近な人（家族）とかでない限り、立ち入ることが難しい。  
本人が困っていることに気づけない、相談できない人に対して、外からアプローチするにはどうしたらよいのかなと思いました。
- 総合事業について詳しく知りたいです。
- ワードオペレータ（プロセッサ）の方はスゴイ。医師は「赤ひげ」の精神であたってほしい。  
豊川の医師の赤ひげといえる方は何%か？気配りを。鉛筆は**2B**がよいです。
- もっと **PR** すれば、もっとたくさんの方が集まると思います。
- とてもよかったです。豊川市の住民でよかったと思います。
- とても参考になりました。ありがとうございました。
- おつかれさまでした。十分な出来映えでした。
- 貴重な機会をありがとうございました。
- 啓蒙に尽くしてほしい。

**ご協力ありがとうございました。**

